

精神疾患の病態理解と 認知行動療法

悪循環からの抜け道をとともに見いだす

2011年1月29日(土)・30日(日)

原田メンタルクリニック
東京認知行動療法研究所

講師：原田誠一先生



薬物療法だけでは改善しえない問題や状況にも積極的に取り組む考え方のひとつに、認知行動療法(CBT: Cognitive Behavior Therapy)があります。CBTは専門家だけが行う特殊な治療法としてだけではなく、現場のスタッフが普段の問題解決に使える大変便利なツールであると考えております。病者が陥っている悪循環の病態が理解できると、おのずと悪循環を断ち切るための自らの立ち位置が見えてくるはずです。CBTの第一人者である原田先生から、心理教育、CBT介入法について、豊富な事例紹介を通して具体的にわかりやすくお話していただける予定としています。



原田誠一先生…原田メンタルクリニック、東京認知行動療法研究所院長。認知行動療法の第一人者として多数の論文、学会でご活躍中。代表的な著書に「強迫性障害のすべてがわかる本」(講談社)、「精神療法の工夫と楽しみ」(金剛出版)、「うつ病治療 現場の工夫より」(神田橋條治らと共著 メディカルレビュー社)など。



29日
(土)

第一日：不安障害・気分障害編

17:30～20:30

- 講義と質疑応答
- 症例提示：阪本病院 精神科医 久保田亮先生
「自殺念慮」と「怒り発作」とが頻発する
30歳代男性に対する25回集中CBTの効果

30日
(日)

第二日：統合失調症・境界例編

9:00～12:00

- 講義と質疑応答
- 症例提示：原田誠一先生
「境界例の事例」

会場 天満研修センター 1階101ホール(下記地図記載)

参加費 3,000 円(1日のみの参加も、両日参加も一律 3,000 円です)

参加費は当日徴収いたします

定員 200 名

参加資格 医師、臨床心理士、看護師、他精神科スタッフ、学生(院生)
(守秘義務を有する有資格者及び医学系学生・心理系大学院生)

申込方法 FAX またはメールで下記までお申し込みください

件名は「**セミナー参加希望**」とし、1.参加日(29日のみ参加・30日のみ参加・両日参加のいずれかを明記) 2. 氏名 3. 所属 4. 職種(院生を含む) 5. 連絡先(住所、電話・FAX番号、メールアドレス) 6. セミナー案内配信の可否 を記載

申込締め切り 2011年1月21日(金) 定員になり次第受付を終了します

天満研修センター 〒530-0034 大阪市北区錦町2-21 TEL06-6354-1927



- JR「大阪」駅から大阪環状線外回りでひと駅(約3分)
JR「天満」駅から徒歩2分
- 地下鉄堺筋線「扇町」駅(1番出口)から徒歩約7分
- 地下鉄谷町線「天神橋筋六丁目」駅(12番出口)から徒歩約10分

※ 財団法人阪本精神病理学研究所

故阪本三郎氏の業績を記念し、1979年に発足した文部科学省認定の財団法人。氏は軍医として戦傷者の精神疾患に注目し、器質性疾患と心因性疾患の鑑別や治療にあたった。またフランスの精神医学を早期に取り入れ、統合失調症の治療可能性を模索した。1930年、東大阪に阪本病院設立。1948年、大阪市立医科大学(現大阪市立大学医学部)に精神神経学教室を開講した初代教授。関西の精神医療の発展に大きく貢献した。

〒577-0811

大阪府東大阪市西上小阪7-17

医療法人聖和錦秀会 阪本病院内

阪本病院公開セミナー事務局

TEL:06-6721-0344

FAX:06-6730-3616

E-mail:seminar@smhc.or.jp

<http://www.smhc.or.jp/seminar/index.html>